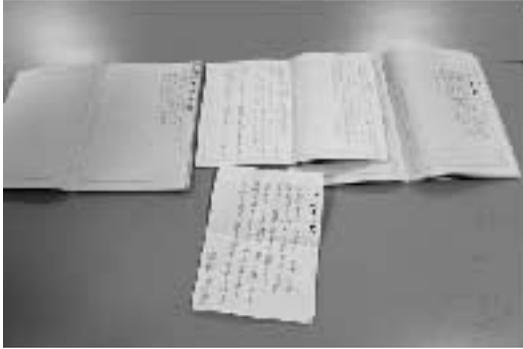




# 「生きる輝き」を持った方たち 特集：みどりの杜俳句会

毎月、広報「東ちちぶ」の文芸欄にご投稿いただいている「みどりの杜俳句会」。「俳句らしい俳句（リズムも凛として毅然（きぜん）とした句）」を生み出す裏側には、いったいどのようなドラマがあるのでしょうか。



▲皆さんは毎月、多くの俳句を詠まれます。その中で一番「俳句らしい俳句」を選んだり添削したりするのは山田さんの役目。山田さんはダイヤの原石を見つける目の持ち主なのです。

東秩父村にある介護老人保健施設「みどりの杜」。その中に、毎月1回の句会が162回、なんと約13年近くの歴史がある「みどりの杜俳句会」があります。利用者の中に長い間俳句を趣味としていた方がいて、句会を要望したことから発足し、初めは3〜4人でスタートした句会も今では職員も加わり20名を超える会になりました。現在、通所・入所の句会の皆さんの平均年齢はなんと90歳以上！そして、当時から指導に当たっている山田美子さんは、介護職のベテランでありながら、俳句・華道・水墨画の指導を行っていらつしやるスペシャリストです。山田さん、そして通所・入所で俳句を詠まれている方々にお会いし、お話を伺うことができました。



▲みどりの杜俳句会の皆さん。すごくお元気で俳句について、皆さん楽しく語ってくださいました。

- 毎月、俳句をどんな気持ちで詠んでいらつしやいますか？  
利用者さん…まず、山田さんにお世話にならなかつたら、俳句の「く」の字も知らなかつたよ。始めてみたら簡単なようですよ。難しい、毎月は確かにつらい。でもね、シルバーカーを押しながら紙とボールペンを持って行って、何かを思ったときすぐ詠む、寝ていても俳句のことを考える。そんな毎日が楽しみになってるね。
- 皆さん楽しく素敵な俳句を詠んでいらつしやるのですね。そのような上で、どのようにして作品を生み出してほしいと思っておりますか？  
山田さん…東秩父の自然に親しみ、よく見て、感動したものを、頭の中で作らないで、見たものを見たとおりに五・七・五に表すことがだんだん生きがいになってくればと思っております。難しいさありますが達成感を味わってほしいですね。
- 毎月の広報に載ることに反響はありますか？  
利用者さん…皆が「楽しんだよ」って言ってくれる。「次はどんな句、詠むの？」とか期待もしていてくれる。「たいしたことないよ」とは言うものの…うれしいね、やっぱ。
- 介護の面での効果はどうですか？  
山田さん…俳句を詠んでいると周りの利用者さんに関心を持って仲間になってくださいますね。始めていただければ何より認知症予防効果が大きいです。
- 俳句を通して伝えたいことはありますか？  
利用者さん…俳句を思いつくと本当にわずかだけれど「小さな感動」があるんだ。そこを私たちの句から読み取ってほしいね。
- 山田さん…東秩父の自然、風土の良さを俳句にして1人でも多くの方に俳句の良さを知ってもらいたいです。
- これからの抱負、目標をお願いします！  
利用者さん…俳句は歳だから詠めない、そんなのではないんだ。自分も人も元気になれる、それが俳句頑張るこれからも作っていくよ。
- 山田さん…東秩父を俳句の村にしたい勢いです（笑）。